

かわちのタイムス

2013.6.1発行 No. 3

かわちの社労士事務所

社会保険労務士 喜多裕明

T)06-6784-4556 F)06-6785-7133

http://kawachino.org

社会保険 ミニ Q&A

Q1. パートや非常勤でも社会保険に加入しなければならないのですか。

A1. 雇用保険は週20時間以上勤務、健保・厚生年金は所定時間の4分の3以上勤務する人が対象になります。

Q2. 「今さら年金なんか…。手取りが減るだけ」と嫌がる従業員がいます。

A2. 平成27年10月(予定)から年金を10年掛ければ、将来受け取れるようになります。

社会保険は会社が保険料を半分負担してくれるので、従業員さんも安心できる制度です。

キーワードは「厳格化」

社会保険未加入対策

労働保険の年度更新、社会保険料の算定基礎届の時期(どちらも7月10日まで)となりました。

いま、社会保険未加入対策の厳格化が注目されています。

改正。建設業許可更新時に社会保険未加入が見つかった場合、「経営事項審査」を大幅に減点するとしています。

派遣業では登録取り消しも労働者派遣事業では、社会

保険未加入を理由に許可更新を取り消された企業も出ています。

「厳格化」の背景には、何があるのでしょうか。

①非正規雇用の増加が無保険・無年金の増加を生んでいる。

②将来の保険・年金一元化(国保と健保、厚生年金と共済)に向けた布石。

③「消えた年金問題」が一段落して、年金事務所が動きやすくなつた。などが考えられます。

いずれにしても、企業にとつて避けて通れない問題です。

どうなる？労働者派遣事業

講義資料(パワーポイント)の一部

労働者派遣事業の改正

1985年	労働者派遣法制定	
1986年	施行(派遣対象業務: 13→19業務)	規制緩和
1996年	改正・施行(" : 26業務)	
1999年	改正・施行(" : 原則自由化)	
2003年	改正(製造業派遣解禁)	
2004年	施行	
2006年	製造業の偽装請負が社会問題化	
2008年	労働者派遣法施行規則改正(日雇派遣指針)	規制強化
2008年秋	リーマンショック・「年越し派遣村」	
2012年	労働者派遣法改正	



派遣元責任者講習の講義(4/10)

だから映画は面白い vol.3

かいかく
『海角七号 君想う、国境の南』
(台湾、2008年)

「日本で一番高い(高かった)山は?」「富士山!」「×、新高山(にいたかやま)。私の子どもの頃(昭和40年前後)に耳にしたクイズ?です。

日本統治下の台湾で、日本の教師と現地の教女子の少女との恋は終戦によって引き裂かれました。教師は帰国の船上で少女への想いをつづります。物語は、永眠した教師の孫娘によって、60年ぶりに出された手紙をナレーションとして進行します。

日本名・小島友子(台湾の象徴?)に宛てた小包は、日本統治時代の住所「海角七号」に出されたため配達不能郵便となり、アルバイトで郵便配達をしている青年アガ(ファン・イーチュン)の手に残りました。アガはミュージシャンになれずに台北から帰ってきて、何事にもヤル気を失くしていました。小包に興味を持ち、開封して7通の手紙を見つけます。日本語が読めないアガにも、伝わるものがあつたようです。

日本の大物歌手を迎えてのコンサートの前座のために、アガたち地元の老若男女によるバンドが結成され、日本人マネージャーの友子(田中千絵)と共に、悪戦苦闘しながら本番を迎えます。元少女に手紙は届けられるのか、アガたちのコンサートは成功するのか、アガと友子との仲は…。

誰もが思い描くストーリーでありながら、心地良いラストです。本作は台湾映画史上最大のヒット作となり、日本でも翌年に公開されています。

ウェイ・ダーション監督は次作でも、日本統治下での民族蜂起を描いた『セデック・バレ』を撮りました。日本帝国主義への抗日運動を描いて、今度は「日本での上映は無理」とも言われましたが、ウェイ監督作品だからこそ、日本人の心をも打つ作品として今年公開されています。

紙文具センターと
機械団地を訪ねて

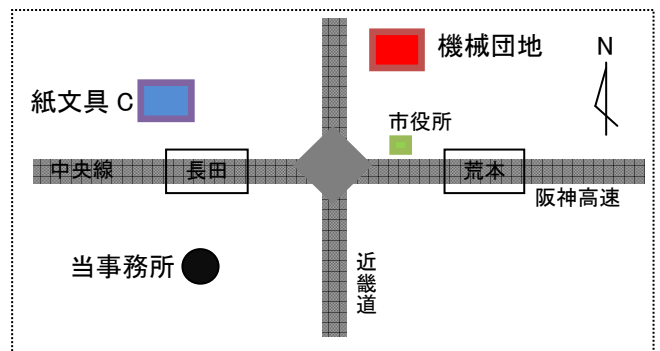
産業集積地に行く

五月の爽やかな風に吹かれて、地元の産業集積地である「大阪紙文具流通センター」と呼ばれていたことを思い出します。と「大阪機械卸業団地」を訪ねました。

区に忽然と紙文具センターが現れ、「文紙町(ぶんしちょう)」と呼ばれていたことを思い出します。機械団地は、大阪市内の今里・谷町・立売堀(いちちほり)などで発達した機械商が、新しい土地を求めて集積したところと

梅雨に入り、雨と蒸し暑さに苦戦しながら、楠根校区の工場街を駆け回る「自転車操業」の日々が続いています。地元で開業できたことを嬉しく思っています。

今回は本社に限定して、紙文具センター約60社のうち22社、機械団地約120社のうち49社を回り、開業のご挨拶をおこないました。中学時代の同級生にも遭遇し、時代の流れを感じつつも、



▼製造業派遣解禁から昨秋の派遣法改正までの8年間、いろいろありすぎたというのが実感です。▼当事務所のホームページをマイナー・チェンジします。「かわちの社労士」らしくがコンセプトです。ぜひ、ご覧ください。

編集後記